

他人の年金記録閲覧可

マイナポータル 別人ひもづけ

マイナンバーカードを使って行政手続きができる政府のサイト「マイナポータル」で、他人の年金記録が閲覧できる状態になるトラブルが発生していたことがわかった。複数の政府関係者が明らかにした。データを入力する際に人为的なミスがあり、別人の情報とひもづけられた可能性があるという。政府は、他にも同様の事例がないかなどを調べている。

▼3面=自ら処分検討、7面=政府重点計画に

手入力で移し替えるミスか

の事例がないか調べるとともに原因の確認を急いでいる。

で

マイナンバーカードをめぐっては、健康保険証としても使う「マイナ保険証」でも、別人の情報が誤って登録されるミスにより、受診履歴や薬剤情報などが他人に閲覧されるトラブルが発生。ま

た、コンビニでマイナカードを使って戸籍証明書の交付を受けようとして、別人のものが発行さ

れるなどのトラブルが相次いでいる。政府は他にも同様

関係者によると、ミスいう。誤って入力したことで、別人の情報などと

ひもづいて登録され、第三者の閲覧が可能になつた恐れがある。確認された分については、閲覧が

は、公務員らが入る地方の共済組合で発生。年金などの社会保障関連の記録を手入力で移し替える際と起きたとみられると

患者が10割負担 533件

マイナ保険証が「無効」別人

マイナンバーカードを健康保険証としても使う

「マイナ保険証」をめぐり、医療機関で「無効」と表示されるなどして、患者が医療費の金額を立て替えた事例が4月以来533件あったことがわかった。全国保険医団体連合会が9日、医療機関に

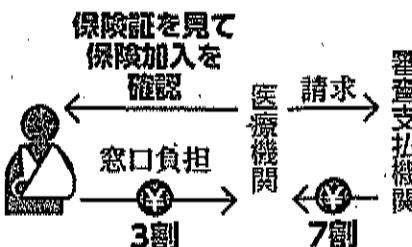
独自に聞き取り調査した結果を公表した。

マイナ保険証システムを導入した35都道府県の医療機関6062施設が回答(8日時点)した。

その結果、64・8% (3929施設)が、マイナ保険証が「無効・資格なし」と表示されるな

ど、何らかのトラブルで、窓口負担が10割に

「マイナ保険証」のトラブルで患者が10割負担に
窓口負担が3割の場合



マイナ保険証のトラブル
本人の資格確認ができない
「該当なし」などのエラー表示
↓
窓口負担が10割に
後で保険資格を確認して
7割分を払い戻す

もらうことが考えられる」とした。

だが、無保険だった場合、患者から支払われなかつた分は、「未収金」となる恐れがある。このため、医療現場からは

「自らの『10割負担』の経験」このうち533件で、いったん患者に10割負担を請求したという。

個人の情報がひもづけられていた件数が85件あつたという。

厚生労働省は当初、マイナ保険証の不具合で患者の資格確認ができない場合を含めて「(保険証がない場合は)患者から10割分を受領してください」と医療機関向けのマニュアルで示していた。だが批判を受けて、6月2日付で内容を改定。「マイナンバーカードの生年月日に基づき自己負担分(3割など)を支払う」とした上で、事後

「マイナポイント 別人付与73件に上がっている」とした。

マイナポイント 別人付与73件に

一方、総務省は9日、マイナンバーカード普及のための「マイナポイント」が誤って別人に付与されたといったトラブルが、133自治体で173件確認されたと発表した。これまで把握していた97自治体121件から増えた。全国の自治体を対象とした調査で、新たに判明した。

所要の手続きを行って(村井隼人、鈴木友里子)

「所要の手続きを行って